

県下1位の生産量！アレンジメントでも人気上昇中！

「クルクマ」出荷ピーク！

【7月21日（水）／碧南市内で収穫風景を紹介します】

JAあいち中央碧南クルクマ部会（部会長：伊藤茂二）が栽培するクルクマが、7月中旬から出荷の最盛期を迎えます。クルクマは東南アジア原産のショウガ科の植物です。1990年に大阪で開かれた「国際花と緑の博覧会」で初めて紹介されたもので、碧南市では1993年から全国でもいち早く切り花の生産を始めました。

暑さに強く、ハスの花に似ていることから、主に仏花として用いられるため、新盆、旧盆の需要に合わせて栽培しています。

夏場でも日持ちが良く、明るい色の品種が多いことから、近年ではブライダルやフラワーアレンジメント、花束用にも人気が高まっています。

今年は、芽が出て、葉や茎が伸びてくる4月、5月に晴れの日が多く、天候に恵まれ例年に比べ10日ほど生育は早く、品質は良好です。



収穫する生産者

碧南市で栽培している品種

当部会では、主力品種の「シャローム」を中心に苞葉が緑色の「チョコゼブラ」、白色の「ロータスホワイト」など、10品種を栽培しており、「シャローム」が全体の約7割を占めています。クルクマの花びらに見えるものは、苞葉（葉の一種）で、その下の小さい紫色のものが花です。



紫色の小さいクルクマの花



主力品種の「シャローム」

JAあいち中央碧南クルクマ部会

部会員：9人

栽培面積：約1ヘクタール

出荷時期：6月上旬～10月下旬（最盛期：7月中旬～8月上旬）

総出荷量：約33万本（全品種で）

流通先：東北・関東（約8割）を中心に、甲信越・中京地区にも出荷しています。

＜メディア対応日＞

日時：2021年7月21日（水）／午前7時00分

場所：碧南ひがし支店集合（碧南市照光町5-27）

※当日は、収穫作業（車で約5分移動）が撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・場所が変更になる場合があります。

碧南市長への表敬訪問

日時：2021年7月19日（月）／午後3時00分

場所：碧南山市役所本庁舎4階応接室A（碧南市松本町28）

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp